

【 介護福祉事業支援システム 】

価格改定シミュレーション ～ 説明書

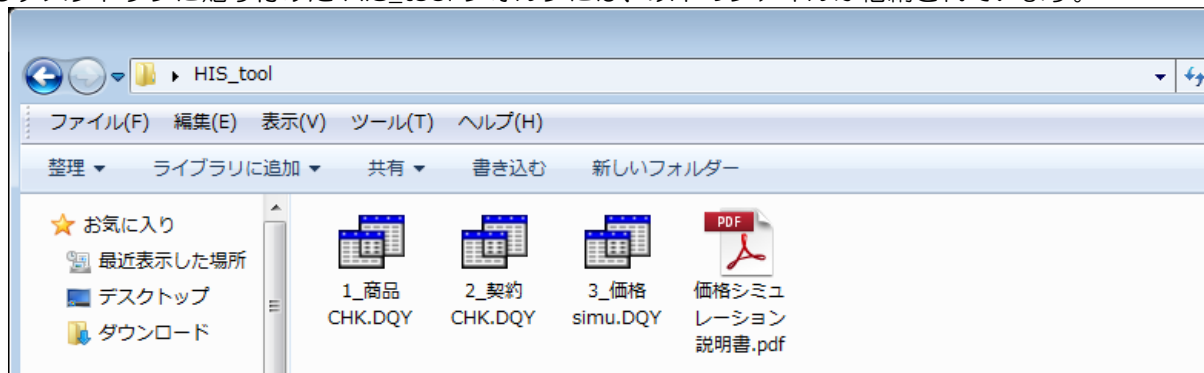
＜＜ 2019年 8月版 ＞＞

○ホームページ／NEWSからダウンロードする場合

- ・ダウンロードを実行後、「名前を付けて保存」を選択し、**デスクトップに保存**してください。☞「HIS_tool.ZIP」（圧縮されていますので、解凍してください。）

○事前にCD送付をお申し込みいただいている場合は、お届けしたCDを開き、「HIS_tool」フォルダを**デスクトップに複写**してください。

○デスクトップに貼り付けた HIS_tool フォルダには、以下のファイルが格納されています。



【注意】上限価格の取り込みがすべて終わっていることを前提としています。

↓システムタブ／商品平均価格取込キーをクリックして確認して下さい。以下のようにになっていることが前提です。

平均・上限価格取り込み

「平均・上限価格」の取込を行います
適用年月と価格ファイルを指定して下さい。

適用年月

価格ファイル

価格ファイルの取込履歴		
取込日	適用年月	件数
2019/08/17 12:15:54	2020年01月	77
2019/08/17 12:14:57	2019年10月	3226
2019/08/17 12:12:24	2018年10月	2807

適用年月毎の件数が、この表の値と同一であることを確認してください。

【注意】
価格ファイルの取込時は他の端末で商品のメンテナンスを行っていない事を確認の上行ってください。

取 込 ク リ ア 閉 じ る

- ・2019年10月適用分については、エクセルが2つのシート構成となっています。ホームページ／NEWSより、取り込み手順書をダウンロード後、1シートに統合したうえで取り込んでください。
- ・拡張子が.xls (Excel97～2003ブック)では取り込めません。シート統合の際、ご注意ください。
- ・2020年1月適用分は、昨年同様1シートですので、ダウンロードしたものを直接取り込むことができます。

※適用年月毎の件数が異なっている場合、お手数ですが上限価格のデータを再度、取り込み直してください。
当処理は、単に取り込むだけの処理ですので、再処理していただいてもまったく問題はありません。

2 1_商品CHK.DQY ~ 仕様説明

(1) 出力レイアウトと、項目説明

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1	商品CD	商品名	課税区分	TAIS_CD	状態	メーカー	マスタ単価	税抜単価	8%税	10%税	価格転嫁	10円丸め	H30/10上限	CHK1	R01/10上限	CHK2	R02/01上限	CHK3
2	00001		課税	0001			1050	973	77	97	1070	1070						
3	0002		課税	0002			1050	973	77	97	1070	1070						
4	0003		選択	0003			1000	926	74	92	1018	1020						
5	ARUKO-DX		非課税	00125-000007			4000	4000	0	0	4080	4080	4020 Over					
6	cococia		課税	00000-000000			5000	4630	370	463	5093	5100						
7	CR-251		課税	00206-000012			25000	23149	1851	2314	25463	25470						
8	DECPAC-P		課税	00170-002222			5500	5093	407	509	5602	5610						
9	DS76-20		課税	01115-000006			200	186	14	18	204	210	820					
10	ET-4A		非課税	00152-000003			25000	25000	0	0	25500	25500	23710 Over					

(2) 項目説明

列	列名	元データ	表示条件
A	商品CD	商品マスタ	商品マスタのキーとなる項目（重複なし、未設定なし）※当リストでは、全商品が対象
B	商品名	商品マスタ	商品名称をそのまま表示
C	課税区分	商品マスタ	課税区分 → 「課税区分必須選択」となっている場合、「必須」と省略
D	TAIS_CD	商品マスタ	TAISコードを表示
E	状態	商品マスタ	商品登録画面で「取扱区分」を「停止」としているとき、「停止」と表示
F	メーカー	商品マスタ	メーカー名を表示
G	マスタ単価	商品マスタ	登録されている「標準直販売上単価」を表示 → 税込み単価
H	税抜単価	計算値	課税、必須：標準直販売上単価 ÷ 108 × 100 [端数切り上げ] 非課税：標準直販売上単価
I	8%税	計算値	課税、必須：標準直販売上単価 - (標準直販売上単価 ÷ 108 × 100 [端数切り上げ]) 非課税：ゼロ
J	10%税	計算値	課税、必須：(標準直販売上単価 ÷ 108 × 100 [端数切り上げ]) × 0.1 [端数切り捨て] 非課税：ゼロ
K	価格転嫁	計算値	H列 × 1.1 [切り捨て] ※非課税品は1.02倍 → 非課税品も含めて全品、2%を価格転嫁したケース
L	10円丸め	計算値	(K列 ÷ 10 [切り上げ]) × 10 ※単位数として設定できるように、10円単位の値 (=単位数) に丸める
M	H30/10上限	上限価格データ	適用開始日 = '2018/10/01'のものを抽出し、その上限価格をセット
N	CHK1		10円単位に丸めた値がN列を超過したとき、“Over”と表示
O	R01/10上限	上限価格データ	適用開始日 = '2019/10/01'のものを抽出し、その上限価格をセット
P	CHK2		10円単位に丸めた値がO列を超過したとき、“Over”と表示
Q	R02/01上限	上限価格データ	適用開始日 = '2020/01/01'のものを抽出し、その上限価格をセット
R	CHK3		10円単位に丸めた値がQ列を超過したとき、“Over”と表示

(3) 補足説明

ケース	税抜単価	8%消費税	10%消費税	価格転嫁	10円単位丸め	補足説明
非課税、4,000円 の場合	4,000	0	0	4,080	4,080	非課税品も 1.02倍 とした場合、いくらになるかの試算
課税品、1,000円 の場合	926	74	92	1,018	1,020	税込みで、20円の値上げ ⇨ 価格転嫁 +2円
課税品、4,000円 の場合	3,704	296	370	4,074	4,080	税込みで、80円の値上げ ⇨ 価格転嫁 +6円
課税品、5,000円 の場合	4,630	370	463	5,093	5,100	税込みで、100円の値上げ ⇨ 価格転嫁 +7円

※「消費税増税分を価格転嫁する」場合、非課税品は対象外ですが、ここでは**1.02倍**とし転嫁した額を試算しています。取り扱いにはご注意ください。

※1点10円であるため単位数に換算した結果、元の税込み単価の**2%増**となり、実質増税分以上の価格となりますが致し方ありません。説明時にはご注意ください。

3 2_契約CHK.DQY ~ 仕様説明

(1) 出力レイアウトと、項目説明

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	自社支店	事業者名	顧客CD	顧客名	顧客担当者	契約担当者	契約開始日	商品CD	登録区分	売価税区分	契約売価	売価税額	契約原価	原価税額
2	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2013/11/1 0:00	HANAGOYOMI		非課税	11000	0	5500	0
3	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2017/10/1 0:00	MWCS-46		非課税	10000	0	8400	0
4	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2017/10/1 0:00	TOKOZURE		課税	2778	222	1389	111
5	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2017/10/1 0:00	TY500		課税	6019	481	4213	337
6	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2017/10/1 0:00	KE-561		課税	2778	222	278	22
7	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2017/11/1 0:00	TOKOZURE		課税	2778	222	1650	132
8	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2017/11/1 0:00	CR-251		課税	23149	1851	11575	925
9	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2017/11/1 0:00	HANAGOYOMI		非課税	10000	0	5500	0
10	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2017/11/1 0:00	MWCS-46		非課税	10000	0	8400	0
11	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2017/11/1 0:00	TOKOZURE		課税	2778	222	1389	111
12	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2017/11/1 0:00	TY500		課税	6019	481	4213	337
13	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2017/11/1 0:00	KE-561		課税	2778	222	278	22
14	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2018/1/1 0:00	TOKOZURE		非課税	3000	0	1650	0
15	0000000000	株式会社	〇〇レンタル	6			2018/1/1 0:00	CR-251		非課税	25000	0	12500	0

(2) 項目説明

列	列名	元データ	表示条件
A	自社支店	顧客マスタ	契約明細にある顧客コードから、顧客マスタに登録されている事業者コードを引用
B	事業者名	自社マスタ	A列の値から、自社マスタの事業者名称を引用
C	顧客CD	契約情報	顧客コード → 抽出条件：契約終了日が空値のもの（契約として有効なもの）
D	顧客名	顧客マスタ	C列の値より、顧客氏名を引用
E	顧客担当者	担当者マスタ	顧客マスタに登録されている担当者名
F	契約担当者	担当者マスタ	受付修正画面に登録されている担当者名
G	契約開始日	契約情報	契約開始日
H	商品CD	契約情報	商品コード
I	登録区分	契約情報	登録区分（デモ、キャンセル、取置）
J	売価税区分	契約情報	売課税区分の値より変換 “1”：課税、“2”：非課税
K	契約売価	契約情報	売価
L	売価税額	契約情報	売価消費税
M	契約原価	契約情報	原価
N	原価税額	契約情報	原価消費税

(3) 補足説明

- 当ツールでは、実行時点で「契約終了日」が空値のもの（解約処理していないもの）を対象としています。
従って、先日付で解約している場合は対象外となり、未来日の契約データは対象となります。ご注意ください。
- 当ツールの結果と、前ページの結果を合体させたものが次項「3_価格simu.DQY」となっていますので、当ツールを単独で実行する意味はありません。
- 登録区分もそのまま表示していますので、「3_価格simu.DQY」ではフィルタで不要な行を削除してください。

(1) 出力レイアウトと、項目説明 1_商品CHK.DQY と、2_契約CHK.DQY を合体させたもの

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M						
1	自社支店	事業者名	顧客CD	顧客名	顧客担当者	契約担当者	契約開始日	登録区分	商品CD	商品名	メーカー	TAIS_CD	状態					
2	0000000000		6	以外	太郎	以外	太郎	2017/11/1	KE-561			00170-000550						
3	0000000000		6	以外	太郎	以外	太郎	2018/1/1	TOKOZURE			00170-000004						
4	0000000000		6	以外	太郎	以外	太郎	2018/1/1				00000-000010						
5	0000000000		16	以外	花													
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF
MST課税区分	売価税区分	契約売価	売価税額	契約原価	原価税額	マスタ単価	税抜単価	8%税	10%税	一律転嫁	課税転嫁	10円丸め	H30/10上限	CHK1	R01/10上限	CHK2	R02/01上限	CHK3
選択	課税	2778	222	278	22	3000	2778	222	277	3055	3055	3060	2190	Over				
選択	非課税	3000	0	1650	0	3060	2634	226	283	3117	3000	3120						
選択	非課税	25000	0	12500	0	25000	23149	1851	2314	25463	25000	25470						
選択	非課税	800	0	600	0	800	741	59	74	815	800	820	790	Over				

(2) 項目説明

列	列名	元データ	表示条件
A	自社支店	顧客マスタ	契約明細にある顧客コードから、顧客マスタに登録されている事業者コードを引用
B	事業者名	自社マスタ	A列の値から、自社マスタの事業者名称を引用
C	顧客CD	契約情報	顧客コード → 抽出条件：契約終了日が空値のもの（契約として有効なもの）
D	顧客名	顧客マスタ	C列の値より、顧客氏名を引用
E	顧客担当者	担当者マスタ	顧客マスタに登録されている担当者名
F	契約担当者	担当者マスタ	受付修正画面に登録されている担当者名
G	契約開始日	契約情報	契約開始日
H	登録区分	契約情報	登録区分（デモ、キャンセル、取置）
I	商品CD	契約情報	契約情報に登録されている商品コード
J	商品名	商品マスタ	I列の値より、商品名称を引用
K	メーカー	商品マスタ	メーカー名を表示
L	TAIS_CD	商品マスタ	TAISコードを表示
M	状態	商品マスタ	商品登録画面で「取扱区分」を「停止」としているとき、「停止」と表示
N	MST課税区分	商品マスタ	課税区分 → 「課税区分必須選択」となっている場合、「必須」と省略
O	売価税区分	契約情報	売課税区分の値より変換 “1”：課税、“2”：非課税
P	契約売価	契約情報	売価
Q	売価税額	契約情報	売価消費税
R	契約原価	契約情報	原価
S	原価税額	契約情報	原価消費税
T	マスタ単価	商品マスタ	登録されている「標準直販売上単価」を表示 → 税込み単価
U	税抜単価	計算値	課税、必須：標準直販売上単価 ÷ 108 × 100 [端数切り上げ] 非課税：標準直販売上単価
V	8%税	計算値	課税、必須：標準直販売上単価 - (標準直販売上単価 ÷ 108 × 100 [端数切り上げ]) 非課税：ゼロ
W	10%税	計算値	課税、必須：(標準直販売上単価 ÷ 108 × 100 [端数切り上げ]) × 0.1 [端数切り捨て] 非課税：ゼロ
X	一律転嫁	計算値	U列 × 1.1 [切り捨て] ※非課税品も一律1.02倍している → 全品、価格転嫁したケース
Y	課税転嫁	契約情報	売課税区分 = “1”(課税)：U列 × 1.1 [切り捨て] 、“2”(非課税)：U列 (税抜単価：非課税は転嫁なしとしたケース)
Z	10円丸め	計算値	(X列 ÷ 10 [切り上げ]) × 10 ※単位数として設定できるように、10円単位の値に丸める
AA	H30/10上限	上限価格データ	適用開始日 = ‘2018/10/01’のものを抽出し、その上限価格をセット、Z列が超過時、AB列にOverと表示
AC	R01/10上限	上限価格データ	適用開始日 = ‘2019/10/01’のものを抽出し、その上限価格をセット、Z列が超過時、AD列にOverと表示
AE	R02/01上限	上限価格データ	適用開始日 = ‘2020/01/01’のものを抽出し、その上限価格をセット、Z列が超過時、AF列にOverと表示

5 当ツールの活用事例 ～ 自動計算結果による総売上高の増分確認

■商品マスタ単価を自動計算した結果、現在有効な契約と突合することで、売上高がどのように変化するかを概算で把握することができます。

- (1) 3_価格simu.DQY を作成してください。
・この表は、現在有効な契約データ（終了していない継続中のもの）をベースとして、前ページの商品マスタから算出した価格転嫁後の単価を突合せたものです。
- (2) 各列の合計を取得してみてください。

	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF
1	TAIS_CD	状態	MST課税E	売価税区分	契約売価	売価税額	契約原価	原価税額	マスタ単価	税抜単価	8%税	10%税	一律転嫁	課税転嫁	10円丸め	H30/10上限	CHK1	R01/10上限	CHK2	R02/01上限	CHK3
315	00170-000519	非課税	非課税		7,200	0	1,000	0	14,000	14,000	0	0	14,280	7,200	14,280	10,220	Over				
316	00170-000550	選択	非課税		2,400	0	300	0	3,000	2,778	222	277	3,055	2,400	3,060	2,190	Over				
317	00170-000527	非課税	非課税		800	0	100	0	500	500	0	0	510	800	510	660					
318	00170-000317	課税	課税		762	38	100	5	1,000	926	74	92	1,018	1,018	1,020	4,790					
319	00433-000001	非課税	非課税		22,000	0	12,100	0	25,000	25,000	0	0	25,500	22,000	25,500						
320	00025-000012	課税	課税		5,334	266	4,000	200	6,500	6,019	481	601	6,620	6,620	6,620	22,880					
321	12345-123456	課税	課税		5,200	260	3,900	195	6,500	6,019	481	601	6,620	6,620	6,620						
322	00170-000199	非課税	非課税		5,000	0	4,900	0	7,000	7,000	0	0	7,140	5,000	7,140						
323	12345-123456	非課税	非課税		11,000	0	0	0	10,000	10,000	0	0	10,200	11,000	10,200						
324	00170-000004	課税	課税		3,000	150	0	0	3,060	2,834	226	283	3,117	3,117	3,120						
325	12345-123456	非課税	非課税		3,000	0	6,050	0	10,000	10,000	0	0	10,200	3,000	10,200						
326	00170-000004	課税	課税		1,000	50	100	5	3,060	2,834	226	283	3,117	3,117	3,120						
327	12345-123456	非課税	非課税		8,000	0	6,500	0	12,000	12,000	0	0	12,240	8,000	12,240						
328					1,822,635	12,954	850,345	7,833		1,997,243	29,917	37,362	2,067,061	1,856,594	2,067,560						

P列の合計は、現在有効な契約の売単価を合計したものです。休止など半額となるケースは反映できませんが、売上高の概算値として使えます。

R列の合計は、現在有効な契約の原単価を合計したものです。休止など半額となるケースや自社在庫分は反映できませんが、仕入高の概算値として使えます。

X列、Y列は価格改定後の売上高概算値として使えます。X列合計と比較することで売上増額の概算値を得ることができます。
※Y列は課税品のみ転嫁した値です。

※Z列は、X列をベースに丸めています。

■注意事項■

- 当エクセルツールをご使用いただくことで、別途用意いたしました「消費税対応～支援ツール／商品単価メンテナンス」画面にて、入力作業を効率よく行うことができます。
- 2_契約CHK.DQY は単独でお使いになることはありません。（3_価格simu.DQYのベースデータとなるもの）
すべては「3_価格simu.DQY」に含まれています。フィルタで不要な行を削除する場合、「3_価格simu.DQY」のエクセルで実施してください。
- 3つのDQYは、それぞれが単独のエクセルを開きます。関連性はありませんので、エクセルに対して上書き修正する場合は取り扱いにご注意ください。